

〔別紙1〕

## 隨意契約理由書

件名	西部処理場 1系水処理電気設備改修
契約の相手方	株式会社 明電エンジニアリング
根拠法令	地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令第11条第1項第2号
<p>随意契約の理由</p> <p>今回改修対象となる1系水処理電気室および第4機械棟電気室の電気設備は、それぞれ1992年度（平成4年度）および1995年度（平成7年度）に設置され、それぞれ32年と29年が経過している。これらの電気設備は、標準耐用年数である20年を超えており、信頼性が低下している。もし機能不全が発生した場合、西部処理場1系水処理設備全体が停止し、市民生活に重大な影響を及ぼすことになる。</p> <p>本改修で、長期間の使用によって劣化した主要部品を交換することで、信頼性の向上を図り、今後の安定的な運転を維持することができる。また、改修対象となる電気設備は、株式会社明電舎によって製造および設置され、独自の技術で設計および製作しているため、他社が内部構造を理解して本改修作業を行うことは不可能である。さらに、改修後の技術的責任を明確にするためには、製造会社に依頼する必要がある。</p> <p>したがって、本改修は製造会社である株式会社明電舎の納入機器の修繕、点検・整備業務について業務移管されている、株式会社明電エンジニアリングにしか実施できないことから、随意契約を行うものとする。</p>	
担当部署  （問合せ先）	<p>建設局 中央水環境センター 施設課 施設係</p> <p>（電話番号 641-2400）</p>